

令和6年2月22日

令和6年
第1回恵那市議会定例会
施政方針及び提案説明要旨



令和6年第1回恵那市議会定例会施政方針

本日、ここに令和6年第1回恵那市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

1月1日に発生しました令和6年能登半島地震から1か月余りが経過しました。改めまして亡くなれた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

令和6年度の当初予算案をはじめとする関係議案の御審議をお願いするにあたり、市政運営の基本政策及び予算編成方針並びに主要施策について御説明申し上げ、議員並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたく存じます。

(令和6年度市政運営に当たっての基本政策)

はじめに、市政運営の基本政策について申し上げます。第2次恵那市総合計画後期基本計画の4年目を迎える令和6年度につきましては、とりわけ子育て支援と災害対策に重点に置いた施策を実施してまいりますので、この2点についてご説明申し上げます。

まず1つ目の子育て支援につきましては、「経済的負担への支援」、「寄り添う支援」、「子育て環境支援」の3本の柱を掲げ、子育て支援パッケージとして新たな支援及び支援の拡充に取り組んでまいります。一端を申し上げますと、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、公立こども園や私立保育園などの給食費を支援するほか、明知鉄道を利用する高校生の通学定期代の一部を市が負担いたします。また、小中学校入学時に祝金を支給するほか、中学3年生の高等学校就学等のための準備金を支給いたします。

带状疱疹とおたふくかぜの予防接種について、接種費用の一部を助成するほか、子どもインフルエンザ予防接種費用の助成を高校生世代まで拡大いたします。

産後ケアの充実を図るため、女性支援員がご家庭を訪問し、ベビー用品をお届けするとともに、子育てに関する悩み事相談を実施してまいります。また、出産して間もない保護者を対象とした産後サロンを開催し、出産後の子育てを応援してまいります。

これらの施策に必要な財源につきましては、基金の見直しを行い、運用益を活用することにより、持続可能な施策として実施してまいります。

2つ目に、災害に対する備えとしまして、市内13小学校の屋内運動場に、停電時にも利用できる電源自立型空調を導入し、災害時における避難所としての利便性の向上を図ってまいります。また、地震発生時の建物の倒壊を防ぎ、市民の皆様の生命と財産を守るため、旧耐震基準で建築された木造住宅の無料耐震診断や耐震改修工事費の補助事業を拡充し、災害に強いまちづくりを目指してまいります。

それでは、「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本の柱の取組につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに「はたらく」につきましては、商工業の振興のための補助金を活用し、市内の消費喚起を促すため、引き続き恵那市プレミアム付商品券を発行し、市内事業者を支援してまいります。

恵那西工業団地につきましては、2区画で進出する企業が決まりました。残る1区画につきましても、引き続き誘致に取り組んでまいります。

昨年大成功となったWRC世界ラリー選手権を引き続き開催し、ラリー開催に併せた地域振興イベントの開催や特産品の開発などにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図り、恵那市の魅力を世界に発信するとともに、大井ダム完成100周年記念イベント及び大正村立村40周年記念式典を契機とした観光誘客を図ってまいります。

「たべる」につきましては、昨年開催しました全国発酵食品サミットを契機に新たなイベントを開催するほか、小学生を対象とした味噌づくり教室を開催するなど、発酵による健康増進と産業の活性化を図ってまいります。

地消地産による地域産業の活性化を図るため、新たにふうどポイント事業を実施するほか、市内農畜物の給食への使用率を高めるなど、生産から消費までをつなぐ食農連携を強化してまいります。

恵那市の伝統的な郷土料理である朴葉寿司をはじめ、栗菓子や五平餅といった食文化の魅力を発信するため、イベントの開催を支援するなど認知度の向上と販路拡大を図ってまいります。また、「えーな給食の日」を引き続き実施し、子どもたちに恵那の食の魅力を伝えてまいります。

「くらす」につきましては、介護、子育て、障がい、生活困窮などの複雑化、複合化により分野別の相談体制では解決が困難な課題に対し、分野を超えた包括的支援を行う重層的支援体制整備事業により、多機関が協働して生活や就労支援、つながりづくりを一体的に行い、「地域共生社会」を目指してまいります。

子育て環境の充実や地域の活性化、まちの魅力を向上させるため、市制20周年を記念した公園を整備し、安心・安全な遊び場の確保と、地域の多世代交流の場を創出してまいります。

リニア中央新幹線建設事業の実施に伴い、周辺地域の道路改良を行うなど基盤整備を実施します。また、上下水道及び雨水幹線の整備を進め、暮らしやすいまちづくりを推進してまいります。

「まなぶ」につきましては、恵那南地区統合中学校の令和8年度開校に向けて、5つの地域の子供たちの心理的な距離を縮めるための交流事業や、学校と地域の連携・協働の拠点施設整備などの検討を進めてまいります。また、既存の山岡中学校を増改築するための実施設計を行うなど、開校に向けた準備を順次進めてまいります。

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催を契機に、恵那市の歴史や文化、芸術の魅力を発信するイベントを開催し、誰もが多様な文化芸能に親しみを感じ、交流できる場を創出してまいります。

自分のクラスに入ることが困難な生徒の学びの場として、空き教室を活用した学

習環境の整備と相談員による生徒のサポートを実施する、校内教育支援センターを全ての中学校に設置し、誰一人取り残されない学びの場を確保してまいります。

(令和6年度予算編成方針)

続きまして、令和6年度の予算編成方針及び予算総額について、ご説明申し上げます。

政府は、足元の物価高に対応しつつ、新しい資本主義の実現に向けた取組の加速や、防災・減災、国土強靱化など、国民の安全・安心の確保、防衛力の抜本的強化を含む外交・安全保障環境の変化への対応を始めとする重要な政策課題について、必要な予算措置を講ずるなど、メリハリの効いた予算編成を行い、総額1兆5,717億円の令和6年度一般会計予算案を閣議決定しました。その中で、地方自治体の安定的な財政運営に必要となる地方交付税交付金は1兆8,671億円と前年度比較3,060億円増加し、交付団体ベースの一般財源総額については、6兆2兆7,180億円と前年度を5,545億円上回る額を確保する措置が講じられています。こうした中、本市の令和6年度予算は、コロナ過から市民生活・経済活動が正常化しつつある中、原油・物価高騰による厳しい状況に対応するとともに、市制20周年の節目として、第2次総合計画後期基本計画を着実に実施するための予算を確保し、子育て環境の充実やインフラの整備など、市民の誰もが住み慣れた地域で、年齢や性別に関わりなく元気に働き続け、安心して住み続けることができるまちを目指した予算を編成いたしました。

(令和6年度予算総額)

一般会計の歳入では、市税は、景気の回復傾向による法人市民税や個人市民税の増加などにより、前年度比0.9%増の6,450万円の増収を見込んでいます。また、地方交付税は、国は地方交付税総額を1.7%増額していることなどから、2億円の増収を見込んでいます。

歳出では、子育て支援事業の拡充、小学校屋内運動場空調設備設置事業、証明書のコンビニ交付サービス事業、地消地産による地域産業の活性化事業、SDGs推進事業、恵那未来キャンパス事業、脱炭素化事業、ラリーを活かしたまちづくり推進事業、市制20周年記念事業など、全体では、物価高騰の影響などもあり、前年度比11.7%、31億2,000万円増の298億円の予算としました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は、保険給付費の減少により前年度比1.7%、9,070万円減の51億8,220万円、介護保険事業特別会計は、介護給付費の減少などにより前年度比1.1%、6,750万円減の63億3,900万円とし、後期高齢者医療特別会計は、被保険者の増加により前年度比9.0%、7,570万円増の9億1,710万円、全体では0.7%、8,250万円減の124億3,950万円の予算としました。

企業会計では、水道事業会計の資本的支出が、山岡地区計装機器更新事業などにより前年度比4.0%、4,440万円増、下水道事業会計の資本的支出が千田川

処理区維持管理適正化事業の増などにより前年度比10.3%、9,870万円増など、全体では、0.6%、5,700万円減の90億360万円としました。

＜令和6年度の予算総額＞

○一般会計	…	298億円	(前年度比	31億2,000万円)
○特別会計	…	124億3,950万円	(前年度比	△8,250万円)
○企業会計	…	90億360万円	(前年度比	△5,700万円)
合計		512億4,310万円	(前年度比	29億8,050万円)

(令和6年度の主要施策)

それでは、令和6年度の主要な施策及び事業について、第2次総合計画後期基本計画の7つの基本目標に沿って説明させていただきます。

(1. 安心して暮らす)

基本目標の第1は、「安心して暮らす」です。

全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健と児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行うこども家庭センターを設置し、保健師や家庭支援員が子育て家庭を包括的に支援してまいります。

高齢者人口が最大になるとされる2040年問題に向け、介護職員研修の受講料を助成するなど、長期的視点による介護人材の確保を図ってまいります。

温室効果ガスの排出量を削減するため、生ごみを資源化できる家庭内生ごみ処理機の購入費用を助成し、持続可能な地域づくりを目指してまいります。

(2. 生命と財産を守る)

基本目標の第2は、「生命と財産を守る」です。

大規模災害などの緊急時における備えとして、市内2か所に衛生材料等の備蓄倉庫を設置し、救護所での医療体制を確保してまいります。また、老朽化した防災行政無線の設備を更新し、迅速かつ的確な情報伝達手段の確保と情報配信機能の強化を図ってまいります。また、永田川と沢尻川に河川の水位を常時監視するカメラを設置し、市民の早期避難行動につなげてまいります。

市民の健康づくりの取組を推進するため、第2期恵那市健幸のまちづくり基本計画・行動計画の策定に取り組んでまいります。また、生活習慣病の重症化を防ぐため、成人歯科健診対象年齢に20歳と各5歳刻みで65歳まで追加するほか、がん検診の検診率向上を推進し、病気の早期発見、早期治療を行うことにより、健康寿命の延伸を図ってまいります。

火災などの災害から市民の生命・財産を守るため、大型水槽付き消防ポンプ自動車を恵那消防署に配備するほか、長島分団の消防ポンプ自動車と串原分団の小型動力ポンプ積載車を更新し、消防体制の充実を図ってまいります。また、令和8年4

月に運用を開始する予定の、東濃5市消防指令センターにつきましても、引き続き準備を進めてまいります。

(3. まちの魅力を高める)

基本目標の第3は、「まちの魅力を高める」です。

県史跡であります明知城跡の発掘調査などの総合調査を実施し、国史跡の指定を目指してまいります。また、岐阜県より「恵那岩村の山城・城下町と農村景観めぐり」が岐阜未来遺産に認定されたことを受け、歴史的文化と自然を活かしたまちづくりを進めてまいります。

リニア開業を見据え、企業誘致や住宅地整備などにつながる戦略的道路整備を検討してまいります。

現在整備を進めております市制20周年記念公園の完成に併せて、拠点となる公園の構想案を作成してまいります。

(4. 便利に暮らす)

基本目標の第4は、「便利に暮らす」です。

誰もが抵抗なく自由に移動できる環境整備を進めるため、デマンド予約により簡単に予約ができる機能を追加し、更なる利便性の向上を図ってまいります。

S L復元運行の可能性の調査を実施し、地域の魅力発信や、観光及び産業振興に関する調査研究を行い、地域づくり計画を策定してまいります。

(5. いきいきと暮らす)

基本目標の第5は、「いきいきと暮らす」です。

「住みたい田舎ランキング」で1位となった恵那市の魅力を更に活かし、外部人材による「地域おこし協力隊」を活用した地域資源のブラッシュアップを行うとともに、移住・定住や空き家に関する相談事業の実施により、安心して住み続けられる地域づくりを目指してまいります。

オリンピックなどのトップアスリートによる教室などを開催し、運動、スポーツを通じた子どもたちの健全育成と、競技力の向上を図ってまいります。

I C Tを活用した新たな教育ツールを導入し、生徒一人ひとりに最適な学習を支援することで、学力の向上を図ってまいります。

(6. まちを元気にする)

基本目標の第6は、「まちを元気にする」です。

恵那のドライブ旅を楽しんでいただけるコンテンツを造成し、インバウンド誘客を図ってまいります。

市内で活用できるデジタル地域通貨について検討委員会を設置し、実施に向けた協議を進めてまいります。

昨年に引き続きウィメンズラリーやクラシックカーミーティングを開催し、車文

化に優しいまちづくりを目指してまいります。

リニア開業を見据えた市内の経済活性化に資するため、リニア基盤整備計画に基づき、恵那峡サービスエリアスマートインターチェンジの整備を進めてまいります。

(7. みんなでまちをつくる)

基本目標の第7は、「みんなでまちをつくる」です。

窓口サービス向上のため、戸籍謄本などを全国のコンビニエンスストアなどで交付する事業を開始し、市内19店舗のコンビニエンスストアでの利用が可能となります。また、振興事務所やえなえーるでマイナンバーカード関連の手続きに必要な端末を設置し、利便性の向上を図ってまいります。

市制20周年に併せて記念式典を開催し、これまでの歩みを振り返りつつ、これからのまちづくりを進めてまいります。

施策の方向性を決める最上位計画であります、第2次恵那市総合計画及び第2次恵那市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略が令和7年度で終了することから、次期計画の策定に着手してまいります。

以上、令和6年度の市政運営における所信の一端を申し上げます。特に「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」に重点を置き、恵那市の更なる発展を目指してまいります。議員並びに市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

(令和6年第1回恵那市議会定例会提案説明要旨)

次に、議案の提案理由について概要を説明させていただきます。

本定例会に提出した議案は、合計44件です。

承第1号専決処分の承認は、令和5年度恵那市一般会計補正予算を専決処分したことについて、承認をお願いするものであります。

議第1号及び議第3号から議第20号までは、条例の一部改正について、議第2号は条例の制定について、議第21号及び議第22号は、契約の締結について、議第23号は財産の処分について、議第24号は調停を成立させることについて、議第25号は市道路線の廃止について、議第26号は市道路線の認定についてであります。

議第27号の人権擁護委員の候補者の推薦については、現委員の任期満了に伴い、新たに杉本 純一（すぎもと じゅんいち）氏を推薦することについて、議会の意見を求めるものです。

議第28号から議第33号までは、令和5年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計の補正予算であり、一般会計補正予算では、全体で2億3,823万1千円の減額補正を行い、一般会計の歳入歳出総額を313億3,503万8千円とし、特別会計補正予算では、全体で1億8,415万2千円の減額補正を行い、特別会計全体の歳入歳出総額を125億2,018万2千円とするものです。企業会計では、全体で6,828万5千円の減額補正を行い、企業会計支出総額を90億

51万2千円とするものです。

議第34号から議第43号までは、主要施策に基づく令和6年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計に係る予算について議決をお願いするものです。

以上で提案説明を終わりますが、詳細につきましては担当部長などに説明をさせていただきますので、よろしく御審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年2月22日

恵那市長 小坂 喬峰